

目 次

I. 総括研究報告

小児がん拠点病院を活用した臨床研究基盤のあり方及び新規治療開発に関する研究

田尻 達郎

(資料)

- 資料1. 神経芽腫新規治療開発に関する研究計画書
- 資料2. AML新規治療開発に関する研究計画書
- 資料3. 臨床研究基盤のあり方に関する研究計画書
- 資料4. 平成25年度がん臨床研究成果発表会スライド

II. 分担研究報告

神経芽腫新規治療開発に関する研究

- 1. 神経芽腫新規治療開発に関する研究の統括 田尻 達郎
- 2. 特性解析と遺伝子・神経芽腫研究グループ代表 中川原 章
- 3. 臨床試験(研究)のデータマネジメント 瀧本 哲也
- 4. 神経芽腫の特性解析と病理組織診断に関する研究 大喜多 肇
- 5. 希少難治疾患対象の臨床試験を能率的に実施するための組織構築
福島 敬
- 6. トランスレーショナルリサーチの臨床試験への導入
細井 創
- 7. 低・中間リスク臨床試験(研究) 家原 知子
- 8. 国際共同臨床試験の確立・肝芽腫研究グループ代表
檜山 英三
- 9. JNBSG次期プロトコールサイズ設計に関する考察
高橋 秀人
- 10. 外科療法の確立 米田 光宏
- 11. 倫理面のインフラ整備 小川 淳
- 12. 高リスク神経芽腫に対するJNBSG次期プロトコールの考察
松本 公一
- 13. 高リスク臨床試験 七野 浩之

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 14. 新規リスク分類構築への遺伝子解析 | 上條 岳彦 |
| 15. 広報インフラ整備・白血病研究グループ(CCLSG)代表 | 菊田 敦 |
| 16. 放射線療法の確立 | 副島 俊典 |

AML 新規治療開発に関する研究

- | | |
|--|-------------|
| 17. AML 研究の総括 | 足立 壮一 |
| 18. 小児急性骨髄性白血病の遺伝子診断に関する研究 | 堀部 敬三 |
| 19. 形態中央診断システムの構築と運用に関する研究 | 宮地 勇人 |
| 20. 遺伝子診断 | 林 泰秀 |
| 21. 染色体診断 | 滝 智彦 |
| 22. 小児急性骨髄性白血病 (AML) に対する標準的治療法の確立 | 富澤 大輔 |
| 23. 小児急性骨髄性白血病 (AML) に対する標準的治療法の確立 | 多賀 崇 |
| 24. AML-12 プロトコール作成と移植プロトコールの計画・作成 | 工藤 寿子・高橋 義行 |
| 25. フローサイトメトリー法による微小残存病変 (MRD) 検出システムの確立 | 岩本 彰太郎 |

臨床研究基盤のあり方に関する研究

- | | |
|--------------------------|-------|
| 26. 臨床研究基盤のあり方に関する研究の総括 | 水谷 修紀 |
| 27. ウィルムス腫瘍研究グループ代表 | 福澤 正洋 |
| 28. 白血病研究グループ (KCLSG) 代表 | 河野 嘉文 |
| 29. 白血病研究グループ (TCCSG) 代表 | 真部 淳 |
| 30. ユーイング肉腫研究グループ代表 | 麦島 秀雄 |
| 31. 横紋筋肉腫研究グループ代表 | 森川 康英 |
| 32. 白血病研究グループ (JACLS) 代表 | 堀 浩樹 |

III. 研究成果の刊行一覧表

IV. 研究成果の刊行物・別刷